

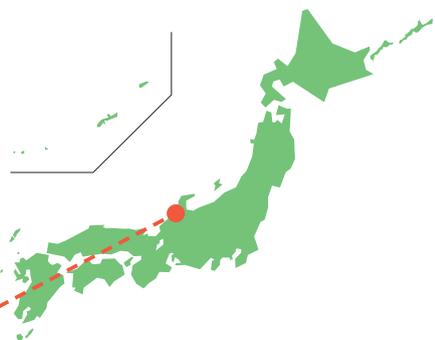
写真で見る

都市の変遷

今と昔の風景

地域の発展や変化にあわせて
移り変わってきたまちの姿。
今と昔を写真とともに振り返ります。

はくい
羽咋市 (石川県)



令和
4年
(2022年)



道路は12mに拡幅され、歩道も整備



総務部秘書課
広報広聴係
ながうら たつお
長浦達夫さん

パセオ通り商店街

パセオ通り(旧銀座通り)は、JR羽咋駅前と国道249号線を結ぶ約600mの通りで、羽咋市のメイン商店街として多数の店舗が並んでいましたが、消費者ニーズの多様化や郊外大型店の進出などにより空洞化が進んだため、平成5年から道路整備に取り組み、平成14年に完成。名前はスペイン語で散歩を意味するパセオを用いた「ふれあいの街「パセオ通り、」に決定し、カラー舗装の道路と共に明るいイメージの商店街に生まれ変わりました。



昭和
47年
(1972年)

道路の幅が狭く、多数の店舗が立地